

もくじ

はじめに	1
日本パラリンピアンズ協会会長 河合純一 筑波大学理療科教員養成施設長 宮本俊和	
執筆者紹介（掲載順）	3
総論	
文教大学人間科学部准教授 二宮雅也 「さまざまなスポーツ活動を支えるスポーツボランティアの存在」	5
順天堂大学スポーツ健康科学部准教授 渡 正 「可能性が拡大する！！ 障がい者がするスポーツボランティア」	7
長野県長野盲学校教諭 加藤秀一 「長野オリンピック・パラリンピックがベースであると自負を持って…」	9
ボランティア事例集	12
ボランティア① 「リオデジャネイロパラリンピックまでに気づいた可能性」 筑波大学理療科教員養成施設非常勤講師 佐藤卓弥	15
ボランティア② 「視力以外の能力で対等にプレー ゴールボールの魅力を伝える！」 東京都ゴールボール連絡協議会理事 高田朋枝	18
ボランティア③ 「視覚障害者柔道からきっかけづくり！！」 愛知県立名古屋盲学校教諭 廣瀬 誠	21

ボランティア④ 24
「プロサッカーチームとの連携で一つひとつ世界を広げる」
長野県松本盲学校教諭 河野隆則・中澤公博

ボランティア⑤ 27
「つくばマラソンのマッサージボランティア」
筑波技術大学保健科学部保健学科鍼灸学専攻准教授 佐々木健

ボランティア⑥ 30
「障がい当事者のイニシアティブによるスポーツの普及」
全日本視覚障害者ボウリング協会会長 青松利明

ボランティア⑦ 33
「いきいき茨城ゆめ国体 2019/いきいき茨城ゆめ大会 2019
に向けての障害者ボランティア」
筑波大学体育系准教授 齊藤まゆみ

対 談

「ボランティアの本気度が 2020 東京大会成功のカギ！」 36
日本スポーツボランティアネットワーク理事長
笹川スポーツ財団理事長 渡邊一利
笹川スポーツ財団スポーツ政策研究所主席研究員 澁谷茂樹

東京 2020 大会のボランティア 40

おわりに 43
筑波大学理療科教員養成施設長 宮本俊和
日本パラリンピアンズ協会会長 河合純一